

事業

1 平成24年度事業報告

公1 事務局事業

16,211,875 円

1 文化事業 16,211,875 円

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援した。

(1) 主催事業 9,054,041 円

ミニライブコンサート (302,085)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出すとともに、市役所を訪れた市民が気軽に音楽を楽しむコンサートを開催した。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

伝統文化ふれあい事業 (2,000,945)

新潟の歴史と風土に培われてきた伝統文化、伝統芸能を紹介することで、それらを次世代に継承し、各団体の活性化を図った。

・新潟市無形文化財指定 市山流 六世 市山七十郎 七回忌 追善舞踊公演

主 催 市山会、新潟市との共催

開催日 平成24年4月15日

場 所 市民芸術文化会館 劇場

入場者 744人

・2012にいがた総おどり祭(下駄総踊り)

主 催 新潟総踊り祭実行委員会ほかとの共催

開催日 平成24年9月15日～17日 3日間

場 所 万代シティ、駅南けやき通りほか

来場者 約270,000人

文化講演会 (459,495)

著名な作家を講師に招き、講演会を開催した。

開催日 平成24年11月23日

場 所 市民プラザ

講 師 藤沢 周

演 題 「文学のふるさと」

入場者 260人

坂口安吾顕彰事業 (6,291,516)

新潟市が管理する安吾 風の館(旧市長公舎)で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム(HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努めた。また、引き続き関連資料の調査研究を行った。

・「安吾の新日本地理 - 秋田県の巻 -」展

開催日 平成24年4月7日～7月22日

内 容 犬好きである安吾が秋田犬の取材で行った秋田県。初恋の人・矢田津世子の故郷でもある秋田での取材の様子を取材メモや集めた資料、矢田への書簡などから紹介した。

入場者 1,914 人

・「安吾をめぐる人々 尾崎 士郎」展

開催日 平成 24 年 8 月 4 日～11 月 25 日

内 容 安吾が終生、友として敬愛し、また尾崎も安吾の葬儀委員長をつとめるなど関係の深かった二人。二人の書簡などから互いへの思いを探った。

入場者 4,115 人

・「安吾こころの地 松之山 十日町」展

開催日 平成 24 年 12 月 6 日～平成 25 年 3 月 24 日

内 容 安吾の叔母と姉が嫁ぎ、安吾も何度も訪れ交流の深かった松之山・村山家。義兄村山真雄、その弟政司、姪の喜久らと交わされた書簡や資料などを通し、彼らとの交流とともに松之山を紹介した。

入場者 1,804 人

(2) 共催・協賛事業 3,150,630 円
共催事業

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

・第 60 回新潟市芸能まつり (2,500,000)

開催日 平成 24 年 10 月 7 日～平成 25 年 1 月 13 日 入場者 14,615 人

・第 44 回新潟市美術展 (350,000)

開催日 前期：平成 24 年 10 月 17 日～10 月 21 日 / 後期：平成 24 年 10 月 24 日～10 月 28 日

入場者 6,515 人

・第 26 回新潟市郷土芸能発表会 (300,000)

開催日 平成 24 年 7 月 8 日 入場者 252 人

(3) 表彰顕彰事業 104,930 円
新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

・新潟市美術展 6 部門

・アークベル県民アマチュア絵画展 2 部門

・光風会新潟支部展 1 部門

・二科新潟展 1 部門

・新潟県工芸会展 1 部門

(4) 支援助成事業 3,902,274 円

市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化事業に対して、申請時期を上期・下期の 2 期に分け、上限 20 万円で助成金を交付した。(助成対象事業は審査会に諮って決定)

期 別	事 業 実 施 期 間	申請件数	交付件数	交付金額
平成 24 年度 上 期	平成 24 年 4 月 1 日から 平成 24 年 9 月 30 日まで	13 件	10 件	1,695,000 円
平成 24 年度 下 期	平成 24 年 10 月 1 日から 平成 25 年 3 月 31 日まで	15 件	11 件	2,090,000 円
合 計		28 件	21 件	3,785,000 円

2 会議の開催状況

(1) 評議員会

第 1 回 平成 24 年 4 月 1 日【書面】

- ・評議員の選任について

第 2 回(定時) 平成 24 年 6 月 8 日

- ・平成 23 年度事業報告及び決算について
- ・助成事業審査員の選任について

第 3 回 平成 25 年 3 月 7 日【書面】

- ・評議員の辞任に伴う補欠選任について

第 4 回 平成 25 年 3 月 26 日【書面】

- ・評議員の辞任に伴う補欠選任について
- ・理事の辞任に伴う補欠選任について
- ・理事の選任について
- ・監事の辞任に伴う補欠選任について

(2) 理事会

第 1 回 平成 24 年 4 月 1 日【書面】

- ・理事長及び常務理事の選定について
- ・常勤役員の報酬の金額等について
- ・事務局長の任命について
- ・基本財産について

第 2 回 平成 24 年 5 月 22 日

- ・平成 23 年度市民芸術文化会館会計補正予算について
- ・平成 23 年度事業報告及び決算について
- ・規程、規則の一部改正(職員就業規則)について
- ・助成事業審査員の選任について
- ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について(報告)

第 3 回 平成 25 年 3 月 6 日【書面】

- ・評議員への提案について

第4回 平成25年3月19日

- ・平成24年度補正予算について
- ・平成25年度事業計画及び予算について
- ・規程、規則の一部改正(育児休業等規程)について
- ・第4回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について(報告)

1 文化事業(指定管理事業) 457,020,029 円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館など諸施設を十分に活かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行った。

また、りゅーとぴあ音楽文化会館を芸術文化活動の拠点施設として、全国に向けて創造性の高い音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図った。

(1) 音楽事業 169,092,609 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会や音楽愛好者拡大のための演奏会、さらに、オルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めた。

特に、24年度は、1コインコンサート10周年を記念した「全国1コイン・グランプリ NIIGATA」や、4年に1度開催している大晦日の年越しガラ・コンサート「にいがたジルヴェスターコンサート2012」を開催して聴衆の関心を引き起こし、幅広い聴衆の拡大を図った。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図った。

鑑賞事業 (137,959,709)

- 東京交響楽団シリーズ -

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第71回 平成24年5月27日(日) ~マーラー:「大地の歌」~

第72回 7月16日(月・祝) ~モーツァルト:交響曲第29番~

第73回 9月9日(日) ~チャイコフスキー:交響曲第6番「悲愴」~

第74回 10月13日(土) ~ラヴェル:ダフニスとクロエ~

第75回 11月11日(日) ~メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲~

第76回 平成25年3月3日(日) ~モーツァルト:~交響曲第38番「プラハ」

・コントホールへようこそ~わくわくキッズコンサート(5回公演) 平成24年11月13日(火)・14日(水)

・特割コンサート 平成24年11月14日(水)

・東響定期+ 京都市交響楽団 平成24年4月5日(木)

・にいがたジルヴェスターコンサート2012 平成24年12月31日(月)~平成25年1月1日(火)

- ピアノ・リサイタルシリーズ -

シリーズ27 イリーナ・メジューエワ 平成24年9月7日(金)

シリーズ28 ユンディ・リ 公演中止

シリーズ29 クリスチャン・ツィメルマン 平成24年12月1日(土)

- 歌の花束シリーズ -

シリーズ 20 「ヴェネツィアの歌のカーニヴァル」 平成 25 年 2 月 17 日(日)

- カルテットシリーズ -

シリーズ 28 外来カルテット 公演中止

- オルガンシリーズ -

- ・ 山本真希リサイタルシリーズ No.14 平成 24 年 7 月 26 日(木)
- ・ 山本真希リサイタルシリーズ No.15 平成 25 年 3 月 2 日(土)
- ・ オルガン・リサイタルシリーズ ティエリ・エスケシュ 平成 24 年 9 月 28 日(金)
- ・ オルガン・リサイタルシリーズ 石丸由佳 平成 24 年 10 月 21 日(日)
- ・ オルガン・クリスマスコンサート 平成 24 年 12 月 22 日(土)
- ・ オルガン・オーダーコンサート 依頼無し

- リューとぴあオペラ劇場シリーズ -

- ・ リューとぴあオペラ劇場オペラ・コンサート 2013《愛の妙薬》平成 25 年 3 月 10 日(日)

- ホール体験事業 -

- ・ 1 コインコンサート
 - Vol.57「箏・尺八」 平成 24 年 4 月 7 日(土)
 - Vol.58「オルガン」 平成 24 年 5 月 31 日(木)
 - Vol.59「ピアノ」 平成 24 年 6 月 15 日(金)
 - Vol.60「声楽」 平成 24 年 9 月 26 日(水)
 - Vol.61「ギター」 平成 24 年 10 月 25 日(木)
 - Vol.62「ロシア民謡」 平成 24 年 11 月 24 日(土)
- ・ 全国 1 コイン・グランプリ NIIGATA 平成 24 年 9 月 13 日(木)
- ・ プライム・クラシック 1500
 - Vol.11「ピアノ」 平成 24 年 6 月 15 日(金)
 - Vol.12「ギター」 平成 24 年 10 月 25 日(木)

- その他 -

- ・ 前橋汀子ヴァイオリン・コンサート 平成 24 年 7 月 7 日(土)
- ・ リボンの国の音楽会～おやこでたのしむクラシック(2回公演) 平成 24 年 7 月 28 日(土)
- ・ カルテット・スピリタス・プレミアムコンサート 平成 24 年 9 月 13 日(木)
- ・ オペラシアターこんにゃく座 オペラ《森は生きている》 平成 24 年 12 月 7 日(金)
- ・ トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団 平成 24 年 12 月 13 日(木)
- ・ 宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」 平成 25 年 1 月 6 日(日)
- ・ 宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤー・コンサート」 平成 25 年 1 月 6 日(日)
- ・ 茂木大輔のオーケストラコンサートシリーズ No.8 平成 25 年 1 月 19 日(土)

育成・普及事業 (31,132,900)

- オルガン事業 -

・オルガン普及プログラム

りゅーとぴあオルガン講座

入門講座

市民オルガン講座

ポジティブオルガン使用の半年コース

基礎講座

ジュニアコース

ポジティブオルガン使用の半年コース

一般コース

ポジティブオルガン使用の1年コース

応用講座

応用コース

大オルガン使用の1年コース

オルガン・サマーデイズ

平成24年8月1日(水)~4日(土)

ニューイヤー・オルガン・ワンコイン・コンサート

平成25年1月13日(日)

オルガン音楽隊

平成24年6月16日(土)・12月7日(金)~9日(日)

- ジュニア等育成事業 -

・にいがた東響コーラス

平成24年6月~平成24年12月

・ジュニアオーケストラ教室育成事業

第31回定期演奏会

平成24年9月16日(日)

クリスマス演奏会

平成24年12月24日(月・祝)音文

・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会

通年

・ジュニア合唱団育成事業

第22回定期演奏会

平成24年7月22日(日)

クリスマスコンサート

平成24年12月23日(日)音文

第34回新潟市少年少女合唱交歓演奏会

平成25年2月16日(土)

・ジュニア邦楽教室育成事業

第17回定期演奏会

平成24年7月29日(日)音文

・ジュニア音楽教室第9回スプリングコンサート

平成25年3月31日(日)

- その他 -

・気軽に音ステージ

平成24年7月1日(日)音文

・政令指定都市・公共ホール音楽活性化モデル事業(研修会)

平成24年9月3日(月)・4日(火)

・市民音楽講座

平成24年11月16日(金)~18日(日)音文

・コンサートホール企画連絡会議

通年

(2) 演劇事業 84,498,899 円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場プロデュース公演及び小劇場系の演劇公演、伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催して、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の定着を目指した。井上ひさし生誕を記念したシリーズ企画や若い演劇人の才能や可能性を紹介する新しい企画“NE/ST”シリーズにより、幅広い年齢層の市民に鑑賞機会を提供した。

また「演劇スタジオ APRICOT」、国際児童青少年芸術フェスティバルにより次世代を担う子どもたちに優れた舞台芸術に触れる機会を提供し人材の育成に取り組んだ。さらに地域の劇団との交流を目的とした「芸術のミナト 演劇祭」では、他都市(東京、名古屋、京都)の劇団も参加し、“交流”の意義を高めながら更なる演劇活動の振興を図った。

鑑賞事業 (71,088,018)

・「幻蝶」1回公演	平成24年4月19日(木)
・NE/ST第一弾 ままごと「あゆみ」1回公演	平成24年4月25日(水)
・NYLON100 「百年の秘密」2回公演	平成24年6月9日(土)・10日(日)
・「第二十四回ふるまち新潟をどり」2回公演	平成24年6月17日(日)
・「楢山節考」1回公演	平成24年6月21日(木)
・「百物語」～第三十夜～1回公演	平成24年7月5日(木)
・井上ひさし「藪原検校」2回公演	平成24年7月14日(土)・15日(日)
・井上ひさし「しみじみ日本・乃木大将」2回公演	平成24年8月25日(土)・26日(日)
・「コンドルズ」～ノッキン・オン・ヘアズ・トア～1回公演	平成24年9月7日(金)
・「ダディ・ロング・レッグズ～足ながおじさんより」1回公演	平成24年9月22日(土)
・「春風亭小朝独演会～第十五回公演～」1回公演	平成24年9月27日(木)
・葛河思潮社「浮標」1回公演	平成24年10月20日(土)
・二兎社「こんばんは、父さん」1回公演	平成24年11月18日(日)
・井上ひさし「組曲虐殺」1回公演	平成25年1月23日(水)

育成・普及事業 (13,410,881)

・国際児童青少年芸術フェスティバル「TACT / FESTIVAL 2012 in 新潟」	平成24年7月21日(土)・22日(日)
・演劇スタジオキッズコース APRICOT 夏季公演「小公女」	平成24年8月10日(金)～12日(日)
・演劇スタジオキッズコース APRICOT 冬季公演「名犬ラッシー」	平成25年1月19日(土)・20日(日)
	1月25日(金)・26日(土)
・第3回 芸術のミナト 演劇祭	平成25年1月18日(金)～3月20日(水)

(3) 能楽事業 26,711,386 円

伝統様式の能楽堂を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた公演と、能・狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催した。また、お囃子や狂言のワークショップの開催により子どもたちへの能・狂言の普及を図った。

鑑賞事業 (24,387,037)

・「春の能楽鑑賞会」(宝生流)2回公演	平成24年6月9日(土)
・「秋の能楽鑑賞会」(観世流)2回公演	平成24年11月18日(日)
・「野村万作・萬斎古典狂言公演」2回公演	平成24年12月8日(土)
・「馬場あき子 能楽の愉しみ」スペシャル版1回公演	平成25年2月16日(土)
・「能楽堂で楽しむ五人囃子」1回公演	平成25年3月3日(日)
・茂山狂言公演2回公演	平成25年3月29日(金)～30日(土)

育成・普及事業 (2,324,349)

・春の能楽鑑賞会プレ講座	平成24年6月9日(土)
--------------	--------------

・秋の能楽鑑賞会プレ講座	平成 24 年 10 月 8 日(月)
・「能楽基礎講座特別版～能楽の愉しみ」 3 回公演	平成 24 年 5 月 26 日(土)・9 月 22 日(土)・12 月 1 日(土)
・「観世流能楽鑑賞教室(共催事業)」 1 回公演	平成 24 年 9 月 29 日(土)
特別講座 1 回	平成 24 年 9 月 6 日(木)
「舞の習い」 10 回	平成 24 年 7 月 8 日(日)～9 月 28 日(金)
・りゅーとぴあ囃子ワークショップ(共催事業) 5 回	平成 24 年 5 月 29 日(火)・30 日(水)
・りゅーとぴあ狂言ワークショップ(共催事業) 3 回	平成 25 年 2 月 5 日(火)・6 日(水)
・「さわってみよう能の世界」 1 回公演(共催事業)	平成 25 年 3 月 27 日(水)

(4) 新潟発創造事業 127,563,116 円

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信した。

平成 24 年度の演劇事業では、これまで実施してきた「りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズ」とは別のコンセプトによる「りゅーとぴあ発“物語の女たち”シリーズ」で新しい創造事業に取り組んだ。一人芝居というコンパクトな形態をとることで、新潟から発信し、全国各地の劇場・ホールでの上演を目指している。

レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism は、平成 20 年からの企画でこれまで 2 作品を発表した見世物小屋シリーズの完結編として、第 3 弾・新作「Nameless Voice～水の庭、砂の家」を上演した。本作は、開港都市にいがた「水と土の芸術祭 2012」の参加作品としても開催期間中、多くの耳目を集めた。新潟初演後は、埼玉、静岡、愛知、石川に巡演した。

12 月には、外部企画で創作・上演した 2 作品を、新潟で初めて上演。平成 23 年夏にサイトウキネン・フェスティバル松本 2011 で発表したバルトーク作バレエ「中国の不思議な役人」と、平成 24 年 3 月に開催された NHK バレエの饗宴での「solo for 2」をりゅーとぴあの劇場向けに作り直して上演した。海外では、4 月にアメリカ・ワシントン DC、6 月にイタリア・フィレンツェで公演を行った。9 月に予定されていた中国・北京公演は、直前に北京市文化局より「延期」の通達があり実施を見送った。研修生カンパニー Noism2 は、水と土の芸術祭で特別公演を行い、2 月に恒例の春の定期公演を実施したのち、柏崎市、妙高市にもツアーで巡演をした。

・りゅーとぴあ発“物語の女たち”平岩弓枝「花影の花」(新潟公演) 平成 25 年 3 月 23 日(土)～24 日(日)

・りゅーとぴあ発“物語の女たち”平岩弓枝「花影の花」(東京公演) 平成 25 年 3 月 28 日(木)

・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism

見世物小屋シリーズ第 3 弾 見世物小屋シリーズ 3 部作完結編

「Nameless Voice ～水の庭、砂の家」

平成 24 年 6 月 29 日(金)・30 日(土)・7 月 1 日(日)・27 日(金)～30 日(月)

10 月 27 日(土)・28 日(日)・11 月 2 日(金)～4 日(日)

彩の国さいたま芸術劇場 小ホール 7 月 6 日(金)～8 日(日)

静岡芸術劇場 7 月 21 日(土)・22 日(日)

愛知県芸術劇場 小ホール 10 月 12 日(金)・13 日(土)

金沢 21 世紀美術館 シアター 21 10 月 20 日(土)・21 日(日)

「中国の不思議な役人」「solo for 2」 新潟公演 平成 24 年 12 月 20 日(木)・21 日(金)

神奈川公演 KAAT 神奈川芸術劇場 平成 24 年 12 月 25 日(火)・26 日(水)

Noism2 特別公演 会場:「浴火鳳凰」 平成 24 年 7 月 14 日(土)

Noism2 春の定期公演 2013 平成 25 年 2 月 22 日(金)～24 日(日)
柏崎市公演 平成 25 年 3 月 8 日(金)
妙高市公演 平成 25 年 3 月 9 日(土)

海外公演

「ZONE」アメリカ・ワシントン DC 公演 平成 24 年 4 月 26 日(木)・27 日(金)

「青ひげ公の城」/「中国の不思議な役人」イタリア・フィレンツェ公演

平成 24 年 6 月 3 日(日)・5 日(火)

Noism メンバー振付公演 平成 25 年 3 月 29 日(金)～31 日(日)

中高生のためのからだワークショップ

『Nameless Voice～水の庭、砂の家』関連事業 / 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団受託事業

平成 24 年 4 月 14 日(土)

こどものためのからだワークショップ / おとなのためのからだワークショップ

『Nameless Voice～水の庭、砂の家』関連事業 / SPAC 静岡舞台芸術センター受託事業

平成 24 年 4 月 15 日(日)

金森穰マスタークラス (ジョン・F・ケネディーセンター主催事業)

平成 24 年 4 月 24 日(火)

こどものためのからだワークショップ (TACT/FESTIVAL プレ企画)

/ おとなのためのからだワークショップ

平成 24 年 7 月 14 日(土)

Noism バレエ / Noism レポートリ -

『Nameless Voice～水の庭、砂の家』関連事業 / 愛知芸術文化センター企画事業実行委員会受託事業

平成 24 年 10 月 14 日(日)

Noism レポートリ -

『Nameless Voice～水の庭、砂の家』関連事業 / 金沢 21 世紀美術館 (公財) 金沢芸術創造財団受託事業

平成 24 年 10 月 18 日(木)

おとなのためのからだワークショップ (新潟市立山の下小学校受託事業)

平成 24 年 11 月 9 日(金)

おとなのためのからだワークショップ (新潟高等学校体育連盟ダンス部受託事業)

平成 24 年 11 月 10 日(土)

Noism からだワークショップ (新潟市保育会 調査研究部受託事業)

平成 24 年 11 月 14 日(水) & 11 月 21 日(木)

こどものためのからだワークショップ / おとなのためのからだワークショップ

平成 24 年 11 月 25 日(日)

高校生ダンス部選抜メンバー向け舞踊ワークショップ(新潟高等学校体育連盟ダンス部受託事業)

平成 25 年 1 月 27 日(日)

震災復興支援特別企画 Noism バレエ 於: いわき芸術文化交流館・アリオス

平成 25 年 3 月 3 日(日)

柳都会 Vol.3~6 平成 24 年 4 月 8 日(日)・7 月 15 日(日)・10 月 7 日(日)

平成 25 年 1 月 20 日(日)

- (5) 共催事業 480 円
 芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行った。
 また、4月に開催したクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業と連携を取りつつ合わせて広範な集客を図った。
- ・ラ・フォル・ジュルネ新潟「熱狂の日」音楽祭 2012 平成 24 年 4 月 22 日(日)～29 日(日)
 - ・スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団 (TeNY) 平成 24 年 6 月 22 日(金)
 - ・宮川彬良のコンチェルトンテ (BSN) 平成 24 年 9 月 29 日(土)
 - ・第 60 回新潟市芸能まつり 平成 24 年 10 月～平成 25 年 1 月音文ほか
 - ・「悼む人」(キョードー北陸) 4 回公演 平成 24 年 11 月 30 日(金)～12 月 2 日(日)
 - ・「劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」(県女子体育連盟) 平成 25 年 1 月 27 日(日)
- (6) 広報営業事業 22,191,747 円
 公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ならびに、企業協賛の募集など広報・営業活動を効果的に行い、集客を図った。
 また、会館情報を積極的に発信し、会館の知名度とイメージアップを図った。
- ・広報・営業事業
 - ・音楽広報事業
 - ・演劇広報事業
- (7) 調査研究諸費 853,130 円
 次年度以降の事業の企画立案のため、他ホールや公演などについて調査した。
- (8) 事業企画諸費 11,157,358 円
 音楽、演劇、舞踊等の各分野において、その専門家から指導・助言してもらい、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施した。また、専属オルガニストを引き続き設置した。
- ・芸術監督(音楽部門・演劇部門・舞踊部門)
 - ・専属オルガニスト
- (9) 事業管理経費 14,951,304 円
 事業実施に係る管理諸経費(託児サービス、チケットシステム、コピー代、研修、郵便料金他)。
- 2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 668,165,351 円
- (1) 市民芸術文化会館管理事業 565,900,632 円
 平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 24 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

コンサートホールの管理

劇場の管理

能楽堂の管理

ギャラリーの管理

スタジオの管理

練習室の管理

平成 24 年度市民芸術文化会館入館者数 339,678 人

(2) 音楽文化会館管理事業 102,264,719 円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。

平成 24 年度も市民芸術文化会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

ホールの管理

練習室 (13 室) の管理

平成 24 年度音楽文化会館入館者数 174,033 人

新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 178,107,981 円

1 文化事業(指定管理事業及び自主事業) 18,679,230 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 1,593,975 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説をおこなった。また、部分的に展示替えを実施した。

(2) 企画展示事業 7,270,085 円

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした展示を4本開催するとともに平成25年度開催予定の企画展示の準備業務を行った。

「にいがたの近代建築」 (1,510,419)

新潟市域を対象に、明治期から昭和戦前期までに建設された建物を写真で紹介した。また、歴史的建造物をめぐる建物の保存運動もあわせて紹介した。期間中は専門家による講演会のほか、姿を消した近代建築の跡地を訪ねる街歩きなどを行った。

開催期間 平成24年4月21日～6月10日 44日間

観覧者数 3,763人(うち有料観覧者 2,715人、無料観覧者 1,048人)

「開墾の技術史」 (3,124,433)

新潟市歴史博物館を含め、新潟市域の博物館・資料館に現存する近世末～近代に普及したと思われる開墾用具に注目し、民俗学、考古学、歴史学の最新の研究成果を紹介した。また期間中に、専門家による講演会や農具を使った体験学習等を行った。

開催期間 平成24年7月21日～8月26日 33日間

観覧者数 1,754人(うち有料観覧者 1,290人、無料観覧者 464人)

むかしの暮らし展「暮らしの道具」 (903,441)

生活スタイルが大きく変化をした、明治時代から昭和40年代までの基本的な暮らしの道具について展示をした。会場が体験の広場になったこともあり、監視・解説員として当館のボランティアスタッフの協力を得た。期間中の体験イベントとして、餅つきや衣服のたたみ方講習、昔話を行った。

開催期間 平成24年9月15日～12月16日 77日間

観覧者数 19,945人(無料観覧者)

活動展示2012「みせる」 (594,565)

「みせる」をキーワードに、「資料を公開する」「資料の魅力を紹介する」の観点から普段公開していない資料、また、魅力を引き出す展示の工夫などを紹介した。そうした博物館の活動をより具体的に示し、かつ理解を促すために、市民参加型のイベントを11種18回開催した。

開催期間 平成 24 年 12 月 8 日～平成 25 年 2 月 24 日 62 日間

観覧者数 3,414 人（無料観覧者）

その他 (1,137,227)

平成 25 年度に開催する企画展「報じられなかった写真」展の印刷物作成ほかの準備を行った。

(3) 教育普及事業 1,352,915 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味ニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを実施した。また、茶の間の押入スペースを使った展示(展示替え 2 回/年)を行なった。

博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うとともに、一部の小学校からの要請によりゲストティーチャーとして出向いた。また、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講座を開講するとともに、大学生の実習を受入れ講義指導を行った。

講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広い年齢層や個別のニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全 9 回、体験講座 全 2 回、くらし体験講座 全 3 回、

くずし字解読入門講座 全 5 回、館長講座 全 4 回、夏休みこども講座 全 2 回など

ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、活動を支援した。そのほか、みなとびあフェスティバルや写生会などボランティア主催の自主企画などを実施した。

新潟市歴史博物館・西安博物院友好提携 5 周年の記念事業（自主事業）

文化庁の平成 24 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）を得て実施した。

新潟市民を対象に、講演会・現地を訪ねるツアーの成果をまとめるワークショップ・事業報告会・パネル展示を行い、最終的に事業の総括を報告書にまとめた。現地を訪ねるツアーでは、西安博物院の協力を得た。

(4) 施設普及事業 2,215,139 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

「新収藏品展」・「収藏品展」の開催

「新収藏品展」では、今年度に寄贈いただいた民俗資料・文書資料・メディア資料・美

術資料等の中から、約 40 点を選んで展示した。

「収蔵品展」は、当館が所有する資料を市民に公開し、理解を深めてもらうことを目的に実施するもので、今年度は「魚をめぐる人々」をテーマに収蔵資料から 56 点を選んで展示した。

「新収蔵品展・収蔵品展」開催期間 平成 25 年 3 月 9 日～3 月 31 日（19 日間）
（実開催会期～4 月 7 日、25 日間）

地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町の P R を目的に以下の事業を開催した。

堀とさくらのコンサート（4/14）、新潟みなと水遊記開幕式（7/14）、夕涼みコンサート（8/18）、みなと・しもまち・川まつり（8/19）、早川堀通納涼盆踊り大会（8/25）

みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員向けに提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき（流作場周辺・山ノ下周辺）・館長バスツアー（秋葉区・加茂・三条方面）・館長講演会を行った。

(5) 調査研究事業 913,390 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、そうした成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 9 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 5,333,726 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、I P M に則った各種の保存環境管理を行った。

資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 159,428,751 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）

旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）

屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

旧新潟税関庁舎

史跡（石段、石積み、石庫等）

平成24年度歴史博物館入館者数 123,322 人

1 文化事業(指定管理事業) 1,540,621 円

「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 常設・企画展示事業 947,116 円

【常設展】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介した。

【企画展】

道具蔵を使い、湊町にいがた・小澤家に関連する展示を行ったほか、主屋・新座敷の館内全体を使った展示を行った。また、新潟市漆器同業組合、新潟ハイカラ文庫など地域団体と連携した展示・企画展を行った。

「端午の節句飾り」・「良寛に魅せられた人々」展

小澤家・万葉洞さんの協力を得て開催した。小澤家旧蔵の兜をはじめ、小澤家より端午の節句を祝う室内飾りや掛け軸などお借りして展示した。また、良寛に感銘を受けた相馬御風・津田青楓・中川一政ら著名人の書や絵画を万葉洞さんからお借りして展示することで、端午の節句を楽しむ雰囲気盛り上げた。

さらに応接セットがあった往時の姿に藤ノ間を再現し、通常の状態とは異なる藤ノ間の豪華な風情を紹介した。

開催期間 平成 24 年 4 月 21 日～5 月 6 日 15 日間

観覧者数 928 人(うち有料観覧者 738 人, 無料観覧者 190 人)

「屏風」展

みなとぴあの協力を得て、小澤家所蔵の南蛮図屏風や新潟市内で活躍した絵師や画家が描いた屏風・掛け軸を道具蔵・次ノ間・藤ノ間の各室で展示した。市内に高い技能や技術をもった絵師や画家がいたこと、当時の商家において屏風や軸を室内に飾って楽しんだ習慣があったことなど、展示を通じて新潟で息づく文化の一端を紹介した。

開催期間 平成 24 年 5 月 19 日～5 月 27 日 8 日間

観覧者数 519 人(うち有料観覧者 388 人, 無料観覧者 131 人)

第二回「新潟漆器」展

前年度に引き続き新潟市漆器同業組合と共催した。江戸後期から明治期に制作された新潟漆器を道具蔵・寝間・通り土間・台所・藤ノ間・百合ノ間に展示し、竹塗りや錦塗りといった特徴ある新潟漆器の技法、漆器職人の高い技術など新潟漆器の価値を広く市民に周知した。また、企画展と併せて体験プログラムとして情報案内所で、沈金体験を 9 回実施した。その他に離れ座敷で新潟漆器を使って新潟の食を味わう「北前満喫パック」を 2 回実施するとともに、庭園を使ってアコースティック・ミニコンサートを 2 回実施し、展示とは異なった旧小澤家住宅の楽しみ方を演出した。

開催期間 平成 24 年 7 月 14 日～9 月 2 日 45 日間

観覧者数 2,248 人(有料観覧者 1,451 人 無料観覧者 797 人)

「新潟仏壇」展

新潟市仏壇組合と共催して、新潟仏壇の歴史と製造工程における技術を展示紹介した。また、企画展と併せて体験プログラムとして情報案内所で、蒔絵体験を 9 回実施した。他にも講演会や警女唄を聴く会などそれぞれ 1 回ずつ実施し新潟仏壇の魅力を伝える催事を行った。

開催期間 平成 24 年 10 月 13 日～11 月 18 日 31 日間

観覧者数 1,660 人(有料観覧者 1,301 人 無料観覧者 359 人)

「七三郎さんの旅行」展

小澤家で所蔵する旅行日誌を調査解読し、旅行の足取りや費用・それぞれの土地における見所など、文書や絵葉書を道具蔵で展示し、資料から広がる当時の国内旅行の世界について紹介した。

開催期間 平成 24 年 12 月 1 日～12 月 27 日 23 日間

観覧者数 590 人(有料観覧者 295 人 無料観覧者 295 人)

「正月飾り」展

小澤家で所蔵する羽子板や漆蒔絵の重箱を道具蔵にて展示し、正月の雰囲気や伝わる展示を行った。

開催期間 平成 25 年 1 月 4 日～1 月 14 日 10 日間

観覧者数 147 人(有料観覧者 46 人 無料観覧者 101 人)

「小澤家の品々」展

小澤家旧蔵の木製・金属製・漆塗りの火鉢を各室にさりげなく展示し、冬の小澤家の生活の様子を暖房器具に焦点を当てて紹介した。また、道具蔵では小澤さんより梅が描かれた絵画や屏風をお借りして、「春を待ちわびる梅尽くし」展を同時開催し、春の訪れを待ちわびる思いを展示に託した。

開催期間 平成 25 年 1 月 19 日～2 月 3 日 14 日間

観覧者数 627 人(有料観覧者 321 人 無料観覧者 306 人)

「旅行」展

市民団体である新潟ハイカラ文庫さんの協力のもと、明治期の新潟市内の宿屋に関する資料や汽車時刻表、地図の他に、旅行カバン、携帯用ケース付属の旅行用シルクハットなどを展示し、当時の新潟市を旅行する人々の必需品や富裕層の旅行で携帯した持ち物などを紹介した。

開催期間 平成 25 年 2 月 7 日～2 月 14 日 7 日間

観覧者数 221 人(有料観覧者 143 人 無料観覧者 78 人)

「ひな人形とからくり人形」展

市民団体である「湊にいがた雛人形 町めぐり連絡会」と共催し、燕喜館・安吾風の館・砂丘館など市内 11 施設と連携協力し、町中の活性事業の一環として同展を実施した。当館では、小澤家旧蔵の雛人形をはじめ周辺地域のひな人形を借用し藤ノ間で展示するとともに、「ひなまつり連絡会」より出品された江戸から大正期の雛人形やからくり人形を道具蔵で展示し、地元に残るひな人形や江戸や京都より新潟にもたらされた豪華な雛人形の数々を紹介した。他にもイベントしてからくり人形の実演会を 2 回開催した。

開催期間 平成 25 年 2 月 19 日～3 月 10 日 18 日間

観覧者数 883 人(有料観覧者 712 人 無料観覧者 171 人)

「新潟築港」展

みなとぴあの協力のもと、大正期における新潟築港工事やその前後における変わりゆく港の姿と機能に注目し、絵葉書や地図などを中心に展示紹介した。

開催期間 平成 25 年 3 月 16 日～3 月 31 日 13 日間

観覧者数 442 人(有料観覧者 317 人 無料観覧者 125 人)

(2) 教育普及事業 144,897 円

体験学習事業

企画展開催中の体験プログラムとして、漆器製作体験・蒔絵体験などを実施した。

博学連携

近隣の 4 小学校(湊・栄・入舟・豊照)の 3 年生 28 人を対象として、夏休み期間の 8 月 20～21 日の 1 泊 2 日で当館を会場に宿泊体験を実施した。和風建築の講義を長岡造形大学の平山育男先生にいただいたり、和口ウソクの灯りのもと怪談話をしたり、銭湯に行ったり、蚊帳を吊って就寝したりするなど盛りだくさんの内容で展開し、かつての生活のあり方や旧小澤家住宅の建物や歴史について楽しく子供達に伝えた。

他にも湊小学校 5・6 年生を対象として、旧小澤家住宅の一室を使って、旧家の豪華な座敷の雰囲気の中かで百人一首大会を開催した。

中学校については、総合学習の要望に応え、みなと町にいがたの歴史と旧小澤家住宅との関連について解説を行った。

新潟大学工学部建設学科建築学コースの学生とともに「しも町」の賑わいと活性化を目的とした連携事業を展開した。景観を活かした町づくり、旧小澤家住宅のライトアップ、茶処「藤乃花」の営業、「しも町」をアピールするための広報活動、「しも町」を元気にするための組織作りなど学生による諸々の提案に対して助言を行い、事業の集大成となる「おいでよ下町」というイベントを 2 月 2 日に実施し、旧小澤家住宅を拠点に、おおいに地域を盛り上げた。

古文書講座(中級) 全 6 回(12 月 14 日～2 月 22 日)

みなとぴあの協力を得て、古文書をある程度読解できる人を対象とした中級講座を実施した。冬期で入館者が少ない時期を設定し、週一回程度の間隔で実施した。受講者は 14 名。

庭園講習会 全 2 回(6 月 9・10 日)

田辺良夫さんを講師に迎え、当館の庭園を鑑賞しながら、ツツジや松といった庭木の手入れの方法を学ぶ講習会を実施した。

庭木撮影講習会 全 1 回(5 月 27 日)

中村脩さんを講師に迎え、当館の美しい庭園や建物を上手に撮影する方法を学ぶ講習会を実施した。

ボランティア育成

旧小澤家住宅の施設を案内解説するガイドボランティアを対象に手話講座を行い、聴覚障害を持つ方への基本的な対応の仕方を学習した。また、来年度ボランティア企画の「燈籠」展開催に向けた準備会を立ち上げた。

- (3) 施設普及事業 384,244 円
旧小澤家住宅の開館にともない、多くのメディアに取り上げられた。チラシ等を作成し、本施設の利用促進をはかるとともに、非公開部分の開放日を設け見学できるようにするなど来館の動機付けを行う事業を行った。また、観覧者アンケートを実施し、来館者のニーズの把握にも努めた。
- (4) 調査研究事業 64,364 円
小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、小澤家や湊町新潟の歴史について市民の理解を深めることを試みた。
また、その成果を「七三郎さんの旅行」展や「小澤家の品々」展などで展示紹介した。
- (5) 収蔵資料保存管理事業
前年度に引き続き引き渡された資料と台帳データのつきあわせ作業を行い、確認作業を行った。
- 2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 23,103,573 円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅(情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等)の管理運営を行った。

平成24年度旧小澤家住宅入館者数 13,237 人

1 付帯事業 40,860,634 円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 40,152,864 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

友の会の運営

ショップの運営

飲食サービスの充実

バックステージツアーの実施

(2) 歴史博物館付帯事業 706,174 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

物販等ショップの運営

自動販売機設置

(3) 旧小澤家住宅付帯事業 1,596 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、オリジナルグッズを開発・販売し、貸館事業のチケットの受託も行った。

2 施設貸与事業 44,773,563 円

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行った。

市民芸術文化会館 (29,784,244)

音楽文化会館 (5,382,354)

歴史博物館 (8,390,987)

旧小澤家住宅 (1,215,978)

2 平成25年度事業計画

公1 事務局事業

22,037 千円

文化事業 22,037 千円

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援する。

(1) 主催事業 6,847 千円

ミニライブコンサート (306)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出し、市役所を訪れた市民に気軽に音楽を楽しんでもらう。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

文化講演会 (632)

文芸作家らを講師に招き、講演会を開催する。

坂口安吾顕彰事業 (5,909)

新潟市が管理する安吾 風の館での資料展示を行うほか、「坂口安吾デジタルミュージアム(HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努める。また、引き続き関連資料の調査研究を行う。

(2) 共催・協賛事業 5,620 千円

共催事業 (5,150)

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出する。

- ・第61回新潟市芸能まつり (2,500)
- ・第45回新潟市美術展 (350)
- ・第27回新潟市郷土芸能発表会 (300)
- ・2013にいがた総おどり祭(下駄総踊り) (1,000)
- ・古典芸能を楽しむ会 (1,000)

協賛事業 (200)

市民が自発的に行う企画性に富んだ、創造的文化事業に対して資金的な支援をする。

(3) 表彰顕彰事業 121 千円

新潟市美術展などの新潟市で開催される公募展に財団賞を交付する。

(4) 支援助成事業 5,719 千円

市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化事業に対して、申請時期を上期・下期の2期に分け、上限20万円で助成金を交付する。

(5) 芸術家支援事業 3,730 千円

新潟市が実施する下記の芸術家支援制度について、広報、申請受付、助成金等の振込などの事務を受託する。

新潟市芸術創造スペース助成制度

新潟市助成金等内定を受けた芸術家等への資金融資制度

1 文化事業(指定管理事業) 575,670 千円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行う。

また、りゅーとぴあと音楽文化会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図る。

平成 25 年度は開館 15 周年にあたることから、記念事業を展開する(「 」で表示)。

(1) 音楽事業 189,456 千円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらに、オルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努める。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図る。特に、25 年度は、3 年に 1 度開催している「ジュニアオーケストラ・フェスティバル」を開催してジュニア育成事業の一層の振興を図るとともに、音楽事業全体を通して幅広い聴衆の拡大を図る。

なお、4 月 26 日～28 日に開催されるクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業と連携を取りつつ合わせて広範な集客を図る。

鑑賞事業 (154,266)

- 東京交響楽団シリーズ -

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第 77 回	平成 25 年 5 月 12 日(日)	～ムソルグスキ：組曲「展覧会の絵」～
第 78 回	7 月 21 日(日)	～ベルリオーズ：劇的交響曲「ロメオとジュリエット」～
第 79 回	9 月 23 日(月・祝)	～サン＝サーンス：交響曲第 3 番「オルガン付き」～
第 80 回	10 月 14 日(月・祝)	～R. シュトラウス：アルプス交響曲～
第 81 回	11 月 17 日(日)	～ブラームス：「運命の歌」、「悲歌」～
第 82 回	平成 26 年 3 月 2 日(日)	～チャイコフスキー：～交響曲第 5 番ホ長調

・コントホールへようこそ～わくわくキッズコンサート(5 回公演) 平成 25 年 10 月 16 日(水)・17 日(木)

・特割コンサート 平成 25 年 10 月 17 日(木)

・東響定期 + No.5 札幌交響楽団 平成 25 年 10 月 26 日(土)

- ピアノ・リサイタルシリーズ -

シリーズ 28 浜松国際ピアノコンクール優勝者(予定)平成 25 年 7 月 3 日(水)

- 歌の花束シリーズ -

- ・ Vol.21 日本の歌手によるコンサート 平成 25 年 11 月 30 日(土)

- カルテットシリーズ -

- ・ シリーズ 29 クアルテット・エクセルシオ 平成 25 年 9 月 29 日(土)
- ・ シリーズ 30 アトリウム弦楽四重奏団 平成 25 年 12 月 7 日(土)

- オルガンシリーズ -

- ・ 山本真希リサイタルシリーズ No.16 平成 25 年 7 月 17 日(水)
- ・ 石丸由佳オルガンリサイタル No.3 平成 25 年 9 月 27 日(日)
- ・ 山本真希リサイタルシリーズ No.17 平成 26 年 2 月 9 日(日)
- ・ オルガン・クリスマスコンサート 平成 25 年 12 月 13 日(金)
- ・ 外来オルガニスト・リサイタル 平成 26 年 3 月 9 日(日)
- ・ オルガン・オーダーコンサート 随時・通年

- りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ -

- ・ プラハ国立歌劇場《魔笛》 平成 25 年 10 月 5 日(土)

- ホール体験事業 -

・ 1 コインコンサート

- Vol.63 「サクソフォーン四重奏」 平成 25 年 4 月 13 日(土)
- Vol.64 「ピアノ」 平成 25 年 5 月 19 日(日)
- Vol.65 「フルート」 平成 25 年 6 月 21 日(金)
- Vol.66 「ホルン」 平成 25 年 8 月 7 日(水)
- Vol.67 「ピアノ」 平成 25 年 9 月 11 日(水)
- Vol.68 「ピアノ五重奏」 平成 25 年 10 月 7 日(月)
- Vol.69 「オルガン」 平成 25 年 12 月 5 日(木)

・ プライム・クラシック 1500

- Vol.13 「フルート」 平成 25 年 6 月 21 日(金)
- Vol.14 「ピアノ五重奏」 平成 25 年 10 月 7 日(月)

- その他 -

- ・ 茂木大輔のオーケストラコンサートシリーズ Vol..9 平成 25 年 6 月 30 日(日)
- ・ ウィーン・V・ルジュリウス ピアノ三重奏団 平成 25 年 7 月 19 日(金)
- ・ 山宮るり子ハープリサイタル 平成 25 年 7 月 27 日(土)
- ・ ライナー・キュッヒル・ヴァイオリンリサイタル 平成 25 年 10 月 9 日(水)
- ・ ターフェルムジーク・パロックオーケストラ「ガリレオ・プロジェクト」 平成 25 年 11 月 20 日(水)
- ・ 宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」 平成 26 年 1 月 5 日(日)
- ・ 宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤーコンサート」 平成 26 年 1 月 5 日(日)
- ・ オペラシアターこんにゃく座 「ねこのくにのおきゃくさま」 平成 26 年 3 月 23 日(日)劇場

育成・普及事業 (35,190)	
- オルガン事業 -	
・オルガン普及プログラム	
りゅーとぴあオルガン講座	
入門講座	
市民オルガン講座	ポジティブオルガン使用の半年コース
基礎講座	
ジュニアコース	大オルガン使用の半年コース
一般コース	大オルガン使用の1年コース
応用講座	
応用コース	大オルガン使用の1年コース
ニューイヤー・オルガンスペシャル	平成26年1月12日(日)
オルガン音楽隊	随時・通年
オルガン・サマーデイズ	平成26年1月11日(土)・12日(日)
- 市民参加合唱団 -	
・にいがた東響コーラス	平成25年6月～12月
- ジュニア等育成事業 -	
・ジュニアオーケストラ教室育成事業	
ジュニアオーケストラ・フェスティバル2013	平成25年8月18日(日)
第32回定期演奏会	平成25年9月15日(日)
クリスマス演奏会	平成25年12月23日(月・祝)音文
・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会	通年
・ジュニア合唱団育成事業	
第23回定期演奏会	平成25年7月14日(日)
クリスマス演奏会	平成25年12月22日(日)音文
第35回新潟市少年少女合唱交歓演奏会	平成26年2月15日(土)
・ジュニア邦楽教室育成事業	
第18回定期演奏会	平成25年7月28日(日)音文
クリスマス演奏会	平成25年12月21日(土)音文
・ジュニア音楽教室第10回スプリングコンサート	平成26年3月30日(日)
- その他 -	
・公共ホール音楽活性化・政令市モデル事業	平成25年5月15日(水)
・おんぶん・リレーコンサート	平成25年11月15日(金)～17日(日)
・コンサートホール企画連絡会議	通年

(3) 演劇事業 126,435 千円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作の作品及び小劇場系の演劇公演や伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の定

着を目指す。また、「演劇スタジオ APRICOT」,「こどもの劇場シリーズ」により次世代を担う子どもたちの優れた舞台芸術に携わる人材や観客を育む。また、地域の劇団との交流を目的とした「芸術のミナト 演劇祭プロデュース公演」の実施により、地元人材の普及啓発を目指しながら、更なる芸術文化活動の振興を図る。

鑑賞事業 (101,604)

・「マシーン日記」1回公演	平成25年4月13日(土)
・「柳家三三で北村薫。」1回公演	平成25年6月8日(土)
・「第二十五回ふるまち新潟をどり」2回公演	平成25年6月16日(日)
・「オセロ」1回公演	平成25年7月3日(水)
・「春風亭小朝独演会」1回公演	平成25年9月予定
・「人形浄瑠璃・文楽」2回公演	平成25年10月9日(水)
・葛河思潮社 Vol.3「冒した者」1回公演	平成25年10月予定
・ミュージカル「フォア・IP -プラットフォーム」1回公演	平成25年10月23日(水)
・演劇集団キャラメルボックス 2回公演	平成25年11月29日(金)~30日(土)
・NE/ST 第3弾「マームとジプシー」3回公演	平成25年12月5日(木)~7日(土)
・白石加代子「百物語」~第三十一夜 1回公演	平成26年2月15日(土)
・「ドン・キホーテ」2回公演	平成26年3月28日(金)~29日(土)

育成・普及事業 (24,831)

・こどもの劇場シリーズ「ピノキオ~または白雪姫」3回公演	平成25年9月28日(土)~29日(日)
・演劇スタジオキッズコース・APRICOT	通年(発表公演:夏季/夏季ツアー/春季)
・「芸術のミナト 演劇祭」プロデュース公演 3回公演	平成26年2月28日(金)~3月2日(日)
・りゅーとぴあ・演劇ワークショップ	年4回(時期未定)

(3) 能楽事業 32,614 千円

伝統様式の本格的な能舞台と劇場を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた公演と、能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催する。また、お囃子や狂言のワークショップの開催により子どもたちへの能楽普及を図る。

鑑賞事業 (28,124)

・「春の能楽鑑賞会」(観世流)2回公演	平成25年4月13日(土)
・スーパー能「世阿弥」1回公演	平成25年7月28日(日)
・野村万作・萬斎「古典狂言」公演 2回公演	平成25年7月14日(日)
・「秋の能楽鑑賞会」(宝生流)2回公演	平成25年10月26日(土)
・野村万作・萬斎「劇場狂言(萬斎ボレ口)」1回公演	平成25年11月21日(木)

育成・普及事業 (4,490)

・馬場あき子 能楽の愉しみ「鶴」1回公演	平成25年5月25日(土)
・能楽ワークショップ[囃子]1回公演	平成25年6月(予定)
・観世流能楽鑑賞教室 1回公演	平成25年9月14日(土)
・能楽ワークショップ[狂言]1回公演	平成26年1月(予定)
・「さわってみよう能の世界」1回公演	平成26年3月(予定)

(4) 新潟発創造事業 147,917 千円

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信する。

平成 25 年度は、24 年度から新企画としてスタートした「りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ」に本格的に取り組んでいく。日本文学の中で、長く読み継がれる名作の数々から、女性の人生を一人芝居として新しい世界を舞台に描いていく。新潟からオリジナルな舞台を創造するとともに、その作品がいかにソフトとして全国に公演展開できるのか、併せて事業展望を考えていく。

レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism は、5 月に 3 部構成の新作「ZA-ZA 祈りと欲望の間に」を創作し、りゅーとぴあ劇場にて上演する。また、2007 年に初演した「PLAY 2 PLAY ~ 干渉する次元」の再演も予定している。海外公演は、見世物小屋シリーズ第一弾「Nameless Hands ~ 人形の家」を 11 月にスペイン・フランスで実施予定。本作品が海外で上演されるのは初めてである。研修生カンパニー Noism2 は春の定期公演、県内へ巡演する他、市内・県内の学校や各地域ホールでの幅広い活動を展開する。

・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ

司馬遼太郎「燃えよ剣」～土方歳三に愛された女、お雪～ 出演 / 十朱幸代

平成 25 年 5 月 17 日(金)～18 日(土) 2 回公演 りゅーとぴあ・能楽堂

平成 25 年 5 月 27 日(月)～28 日(火) 東京公演

井伏鱒二「黒い雨」～八月六日広島にて、矢須子～ 出演 / 奈良岡朋子

平成 25 年 8 月 2 日(金)～3 日(土) 2 回公演 りゅーとぴあ・能楽堂

平成 25 年 8 月 16 日(金) 東京公演

藤沢周平「蝉しぐれ」～永遠の初恋、ふく～ 出演 / 岸恵子

平成 25 年 9 月 20 日(金)～21 日(土) 2 回公演 りゅーとぴあ・劇場

平成 25 年 8 月 30 日(金)・9 月 2 日(月)～6 日(金) 東京公演

・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism

「ZA-ZA 祈りと欲望の間に」 平成 25 年 5 月 24 日(金)～26 日(日)

「PLAY 2 PLAY ~ 干渉する次元」 平成 25 年 12 月 20 日(金)～22 日(日)

Noism2 春の定期公演 2014 平成 26 年 2 月 21 日(金)～23 日(日)

海外公演

「Nameless Hands ~ 人形の家」 スペイン・フランスマドリッド他

平成 25 年 11 月～12 月(予定)

(5) 共催事業 0 千円

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行う。

・BBC フィルハーモニック

平成 25 年 4 月 11 日(木)

・ラ・フォル・ジュルネ新潟 2013

平成 25 年 4 月 26 日(金)～28 日(日)

・ストラディバリウス・サミットコンサート

平成 25 年 6 月 2 日(日)

・プーニン・ピアノリサイタル

平成 25 年 10 月 27 日(日)

・第 61 回新潟市芸能まつり

平成 25 年 10 月～11 月音文ほか

- ・「劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」
- ・榎本大進 / ベルリンフィル八重奏団

平成 26 年 1 月
平成 26 年 1 月 28 日(火)

- (6) 広報営業事業 23,502 千円
公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピールして、会館の知名度の拡大と利用促進を図る。
- ・ 広報・営業事業
 - ・ 音楽広報事業
 - ・ 演劇広報事業
- (7) 調査研究諸費 1,100 千円
次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努める。
- (8) 事業企画諸費 11,515 千円
音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を外に発信する。
- ・ 芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
 - ・ 専属オルガニスト
- (9) 事業管理経費 43,131 千円
票券業務、託児サービス業務、友の会運営業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努める。
- 2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 662,571 千円
- (1) 市民芸術文化会館管理事業 560,712 千円
平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。
平成 25 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行う。
- コンサートホールの管理
 - 劇場の管理
 - 能楽堂の管理
 - ギャラリーの管理
 - スタジオの管理
 - 練習室の管理

(2) 音楽文化会館管理事業 101,859 千円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。

平成 25 年度も市民芸術文化会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行う。

ホールの管理

練習室（13 室）の管理

新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 195,332 千円

1 文化事業(指定管理事業) 21,430 千円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新 32 千円

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業 10,871 千円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。

今年度は例年の4本ほか、平成26年度へ継続する開館10周年記念特別展を開催する。

「報じられなかった写真〔昭和30年代〕 - 写真家・小林新一の820カット - 」
(1,543)

開催期間 平成25年4月27日～6月9日 39日間

良寛を主題にした作品で知られた写真家小林新一(1917-2012)の820カットにおよぶ写真をフィルム形式で展示する。ひとりの報道写真家の眼を通して、大火や地震、地盤沈下などをかかえた新潟の昭和30年代を蘇らせる。

(仮称)「新潟の漆器」 (3,151)

開催期間 平成25年7月20日～9月1日 39日間

新潟では近世から近代にかけて漆器が広く使われるようになり、この時期に漆器生産は新潟の主要な産業にもなった。漆器や漆器職人の道具などの展示を通じて、新潟における漆器の歴史を考える。

むかしのくらし展(仮称)「移り変わる暮らしと住まいの道具」 (1,090)

開催期間 平成25年9月14日～11月24日 62日間

小学校の単元と連動した展覧会。明治から昭和にかけての暮らしの舞台である住まいとその道具の展示を通して、使われた道具と生活様式の変化をたどる。

活動展示2013 (379)

開催期間 平成25年12月7日～平成26年1月26日 38日間

調査・研究、資料保存、普及活動など、みなとぴあの様々な活動を展示紹介する。

(仮称)「大新潟湊展 - 拠点港新潟の江戸・明治 - 」 (4,708)

開催期間 平成26年3月21日～5月18日 50日間

多くの回船でにぎわった江戸から明治期の新潟湊をテーマとし、県内外に所在する新潟と深くかかわる資料を集め展示する。全国的な視点から新潟湊の役割や特色を体系的に明らかにする。

(3) 教育普及事業 892 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を購入する。

体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行く。

博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。

講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- | | |
|----------|-----|
| ・博物館講座 | 年9回 |
| ・館長講座 | 全4回 |
| ・古文書入門講座 | 全5回 |

ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。また新規にボランティアとして活動したいと希望する人々の養成を行う。

(4) 施設普及事業 2,939 千円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

収蔵品展・新収蔵品展の開催

開催期間 平成26年2月1日～3月2日

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展と、25年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

みなとぴあファンクラブ

「みなとぴあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きを開催する。

(5) 調査研究事業 870 千円

市民の関心を引き起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。

館全体としては当館のテーマである「湊と湊町」「低湿地の暮らし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか各学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告・還元するとともに、研究紀要として刊行する。

(6) 資料整理事業 5,826 千円

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。博物館収蔵庫、石庫、新潟市文化財センター、旧木場小学校、旧板井保育園等に所蔵する資料が、少しでもよりよい状態で保存できるように収蔵施設及び展示設備の環境改善に努める。また、市外のほかの収蔵施設と協力する。

資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を管理するための基礎的データや資料活用するための詳細情報を調査・記録し、データベース化する。また資料の養生を行う。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 173,902 千円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)

旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)

屋外施設(広場、堀、園路等)

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

旧新潟税関庁舎

史跡(石段、石積み、石庫等)

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

1 文化事業(指定管理事業) 1,500 千円

「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。」という小澤家住宅の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 常設展示事業

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

(2) 企画展示事業 552 千円

「端午の節句飾り」展

開催期間 平成 25 年 4 月 20 日～5 月 8 日

端午の節句に合わせて小澤家に残る資料で飾り付けをする。

「屏風」展

開催期間 平成 25 年 5 月 25 日～6 月 2 日

博物館協力の企画展。博物館所蔵の屏風、小澤家から南蛮図屏風を借り受け展示紹介する。

第 3 回「新潟漆器」展

開催期間 平成 25 年 7 月 20 日～9 月 1 日 みなとぴあと同時開催

江戸時代から明治期の新潟漆器を道具蔵や各室で展示紹介する。また、小澤家旧蔵の新潟漆器の座卓や重箱を展示紹介する。

「商家の筆筥」展

開催期間 平成 25 年 9 月 7 日～10 月 6 日

新潟ハイカラ文庫さんの協力の下、新潟の商家で使用された筆筥を道具蔵等で展示紹介する。

「新潟仏壇」展

開催期間 平成 25 年 10 月 12 日～11 月 4 日

新潟市仏壇組合との共催。新潟仏壇の技術を道具蔵・藤ノ間で展示紹介する。

「小澤家の品々」展

開催期間 平成 25 年 11 月 16 日～12 月 15 日

小澤家旧蔵の子供用おもちゃを展示紹介する。

ボランティア企画「燈籠」展

開催期間 平成 25 年 12 月 21 日～平成 26 年 1 月 19 日

ガイドボランティアが燈籠について調査・研究した内容を展示紹介する。

「絵はがき」展 小澤家に残る名所絵はがき

開催期間 平成 26 年 1 月 29 日～2 月 9 日

小澤家旧蔵の絵葉書を道具蔵で展示紹介する。

「雛人形とからくり人形」展

開催期間 平成 26 年 2 月 18 日～3 月 9 日

小澤家旧蔵の雛人形や近隣住民から雛人形を借用して道具蔵や藤ノ間で展示紹介する。

「大新潟」展

開催期間 平成 26 年 3 月 21 日～4 月 13 日

博物館協力の企画展。北前船や新潟湊に関する資料を道具蔵で展示紹介する。

(3) 教育普及事業 209 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

体験学習事業

- ・漆器制作、蒔絵体験等を行う。

博・学連携事業

- ・旧小澤家住宅を拠点とした町のにぎわい活性化を目指すための新潟大学との連携事業
- ・中学生の職業体験の受け入れ
- ・小学校への出前授業
- ・小学生を対象とした夏の宿泊体験
- ・百人一首大会

講座・講習・講演会事業

- ・企画展の内容に即した講座講演会
からくり人形講演会
- ・庭木を楽しむ講習会 全 5 回（春 3 回、秋 2 回）
- ・和装を楽しむ講習会 + 写真撮影会 全 1 回
- ・古文書講座（中級編） 全 6 回 博物館の協力を得て実施

ボランティア事業

- ・新規ボランティア養成
- ・ボランティア勉強会の実施

(4) 施設普及事業 354 千円

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりなど、本施設の利用推進を図る。

- ・奥座敷 2 階、離れ座敷の特別公開 平成 25 年 11 月 23 日、平成 26 年 2 月 1 日（予定）

(5) 調査研究事業 165 千円

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

- ・近隣現存土蔵並びに町家所在確認と活用のための調査
土蔵や町家を活かした町のにぎわい活性化を目指すための準備作業

(6) 収蔵資料の保存管理事業 170 千円
旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

(7) その他事業費 50 千円
地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。
・市民茶会 平成 25 年 10 月 4 日～5 日
・下本町商店会との連携事業（予定）

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 23,797 千円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

収1 付帯・施設貸与事業

70,490 千円

1 付帯事業 41,604 千円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 40,757 千円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努める。

友の会の運営

ショップの運営

飲食サービスの充実

バックステージツアーの実施

(2) 歴史博物館付帯事業 837 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

物販等ショップの運営

自動販売機設置

(3) 旧小澤家住宅付帯事業 10 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、湊町や歴史に関する書籍等を扱ったショップの運営を行う。

物販等ショップの運営

2 施設貸与事業 28,886 千円

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行う。

市民芸術文化会館

音楽文化会館

歴史博物館

旧小澤家住宅